



泌尿器科通信 vol.2 2017. 8 発行



こんにちは！泌尿器科外来です。

泌尿器科のことを少しでも知っていただくために、今回は泌尿器科の秘密道具！ならぬ・・『検査道具』を3つ紹介したいと思います。

① 残尿エコー 検査時間：1分ほど

こちらはトイレで排尿をした後に、実際に膀胱の中に尿が残っていないか調べる機械です。『残尿感が強い方』、『突然尿が出なくなってしまった方』、『頻尿の方』などを対象に、膀胱機能の確認のために、この機械で検査させていただきます。検査方法は下腹部のちょうど膀胱上にあたる部分に、ゼリーをつけたエコーの機械を当てます。痛みもなく簡単に行える検査です。



② 尿流量測定機 検査時間：排尿～終了まで

この検査は便器のような機械(左側写真)に向かって排尿をすることで、出た尿量・所要時間・勢いがどの程度であったかを測定します。結果をグラフ化して見ることができ、「排尿機能障害」の診断に用いられます。検査の精度を上げるポイントは『尿を膀胱に十分ためて行うこと。』「トイレに行きたいな～」と思うタイミングで検査をしていただきます。我慢しすぎて、排尿が出にくくなることもあるので我慢のしすぎには注意が必要です。また、排尿するだけ・・・と一見、簡単そうですが、緊張される方もたくさんいらっしゃいますので、実は難しい検査でもあります。

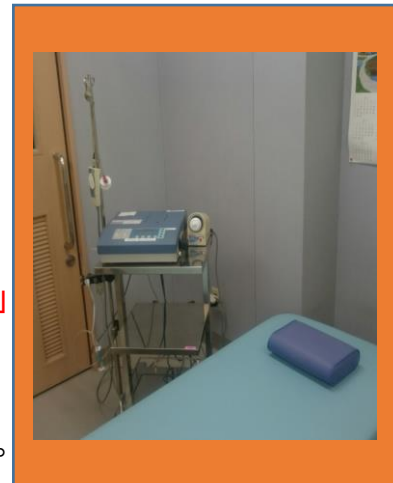


③ 膀胱内圧測定 検査時間：15分ほど

この検査は膀胱機能(尿を貯める力・尿を出す力)を調べる検査です。排尿をした後にベッドで寝ていただき、医師が尿道からチューブを挿入します。また、電極のシールをおしりと太ももに貼り、それぞれを機械と接続したら検査が開始されます。

挿入したチューブを通してガスが膀胱内に注入されますのでトイレに行きたい感じになります。医師が検査中「トイレに行きたくなったら教えてください」や「咳払いをして下さい」など患者さんに伝えますので応えて下さいね。

こちら結果はグラフ化して表示されます。チューブを挿入する際に痛みが生じないように潤滑剤を使用させていただきます。



③膀胱内視鏡 検査時間：男性 約 20 分 女性 約 5 分（お着換えは含みません）

こちらは、内視鏡を使って尿道から膀胱までを観察する機械です。

内部を見ることができるため、「膀胱炎」や「結石」また「腫瘍」などの発見に役立ちます。

検査用のパンツを用意しておりますので、特に服装に注意する必要はありません。

男性は尿道が長いいためゼリー状の麻酔をしてから検査をしますので安心して下さいね。

恐怖心や羞恥心で不安になってしまうかと思いますが、カメラは細くやわらかな軟性膀胱鏡を使用し、痛みも少なく安心して検査を受けていただけるような手技に心がけております。不安が強い方は遠慮なくおっしゃって下さい。

～内視鏡室の様子～



カメラの太さは直径 6mm 程になります

以上、クリニック泌尿器科で使用しているメインの機械でした(^^)

検査内容を知って少しでも不安が取り除けていただければ幸いです。

泌尿器科医師 大竹診療部長の一言！



気になる症状がある方は

相談にいらして下さいね。

読んでいただきありがとうございました！